INS CONECT

取 扱 説 明 書

◆この度は、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

LET'S corporation

V03

目　　　次

はじめに

　このたびは、ＩＮＳコネクト（以降、本装置と記述）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
　この説明書を良くお読みいただき、本装置の機能を十分発揮できますように正しくお取扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は保証書、付属品と共に大切に保管してください。

ご使用上の注意

○本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
○本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
○本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、録音等の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

携帯電話の適合機種については､弊社ホームページでご確認または弊社までお問合せください。

問合せ先
本商品に関するご質問は、購入店または下記にお願いします。

株式会社　レッツ・コーポレーション
電話　　　　　０５２－２０１－６２３０
ファックス　　０５２－２０１－５０５０
ホームページ　http://www.lets-co.co.jp
問い合わせ時間　９：１０～１８：００
　　　　　　　　月曜～金曜日（祝日祭日を除く）

改良、改善などのため予告なく仕様及びそのほかの変更を行うことがありますのであらかじめご了承ください。

１．本装置を使用するための準備

１．１　必ずお読みください

この取扱説明書は､本装置の取扱方法および各機能の操作方法について説明しています。

●安全に正しくお使いいただくために
この取扱説明書および製品の表示では､製品を安全にお使いいただき､あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。**

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：この表示を無視して，誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮されないほか、機能停止をまねく恐れのある内容を示しています。

絵　表　示　の　例

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は湿度の高い場所への設置禁止）を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容(左図は火気のそばへの設置禁止)を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。

●記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中に具体的な禁止内容（左図はACアダプタをコンセントから抜く行為）を示しています。

注　意　事　項

■設置場所について

⚠警　告

●湿度の高い場所への設置禁止
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●火気のそばへの設置禁止
本機や電源コードを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源コードの被服が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。

●湿度の高い場所への設置禁止
直射日光の当たるところや、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。

●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止
調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。

⚠注　意

●不安定な場所への設置禁止
ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。
また、本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。

⚠注　意

●通風孔をふさぐことの禁止
本機（カバー）の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。次のような使い方はしないでください。
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける　・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む

お願い
●本機を正常にまた安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
・ほこりや振動が多い場所　・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・ラジオやテレビ等のすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所

■使用について

（１）もしもこんなときは・・・

⚠警　告

●発煙への対処

万一、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の AC アダプタを抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水が入った場合は、すぐに本機の AC アダプタを抜き、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●異物が装置内部に入った場合の対処

本装置の内部に金属類や燃えやすい物等の、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機の AC アダプタを抜き、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災。感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●電源コードが傷んだ場合の対処

電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本機の AC アダプタを抜いてご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

（２）電源について

⚠警　告

●商用電源以外の禁止

AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、やむを得ず同じ電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

●AC アダプタ

専用の AC アダプタ以外は絶対に使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

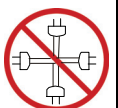
●電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが損傷し、火災・感電の原因となります

●ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

●たこあし配線の禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注　意

●アダプタの取扱注意
AC アダプタを抜くときは、必ず AC アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●乗ることの禁止
本機に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

（3）禁止事項について

⚠警　告

●改造の禁止
本機を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●ぬらすことの禁止
本機に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

●異物を入れないための注意
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は火災・感電の原因となります。

（4）その他のご注意

⚠注　意

●雷のときの注意
雷が発生した際は、ＡＣアダプタ及びモジュラーコードに触れないようにしてください。感電の恐れがあります。

●ＡＣアダプタの清掃
ＡＣアダプタとコンセントの間のほこりは定期的に（半年に１回程度）に取り除いてください。火災・感電の原因となることがあります。

●長期不在のときの注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。

１．２　本装置の接続前に

※　本商品には携帯電話は付属しておりません。
　　別途、ご契約お願い致します。

- 本装置に接続の電話機や主装置、または携帯電話との接続を変更した場合などは、ＡＣアダプタを一度抜いて、５秒ほどたってから再度差し込んでください。
- 本装置はＩＮＳ６４回線相当のＵ点出力です。ＩＮＳ６４回線を収容できる端末と接続してください。
- 本装置はP-P／Ｐ－ＭＰどちらも対応しております。
  また、常時接続及び呼毎端末を接続できます。
- Ｓ/Ｔ点端末を接続する場合は、別途ＤＳＵをご用意ください。
- ビジネスホン主装置やＰＢＸの内線には接続できません。
- 本装置の電源オフ時は、携帯電話への発信及び、着信動作はできません。
- ナンバーディスプレイ機能におきましては、本装置の携帯電話へ着信した発信者番号通知をお知らせします。ただし、一部携帯電話には本機能がご利用できない機種もございますので予めご承知ください。
- 端末にファクシミリ、モデムなどのデータ通信装置は接続できません。
- 本装置には、ＰＤＣタイプ、ＣｄｍａＯｎｅ方式、ＰＨＳ、また、本装置に付属の携帯制御ケーブルコネクタ形状に適合しない携帯電話並びに、FOMA USB ハンズフリーを使用するための技術参考資料（AT コマンド）1.0 版[株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ]の通信仕様に準拠しない携帯電話は取り付けられません。
- 本装置にはセキュリティー端末、パケット端末は接続できません。
- 本装置は携帯充電機能を補助的にサポートしています。
  発着信の呼量が多い場合や電池寿命などにより、運用中に電池切れを起こす場合があります。

１．３　ＩＮＳコネクトとは

PBX や主装置に本装置を取り付けて、定額プランなどに契約した 3G 携帯電話を取り付けることにより、ビジネスホンからの発信またはビジネスホンへの着信を本装置に接続した携帯電話から行います。

接続構成例

3G 携帯

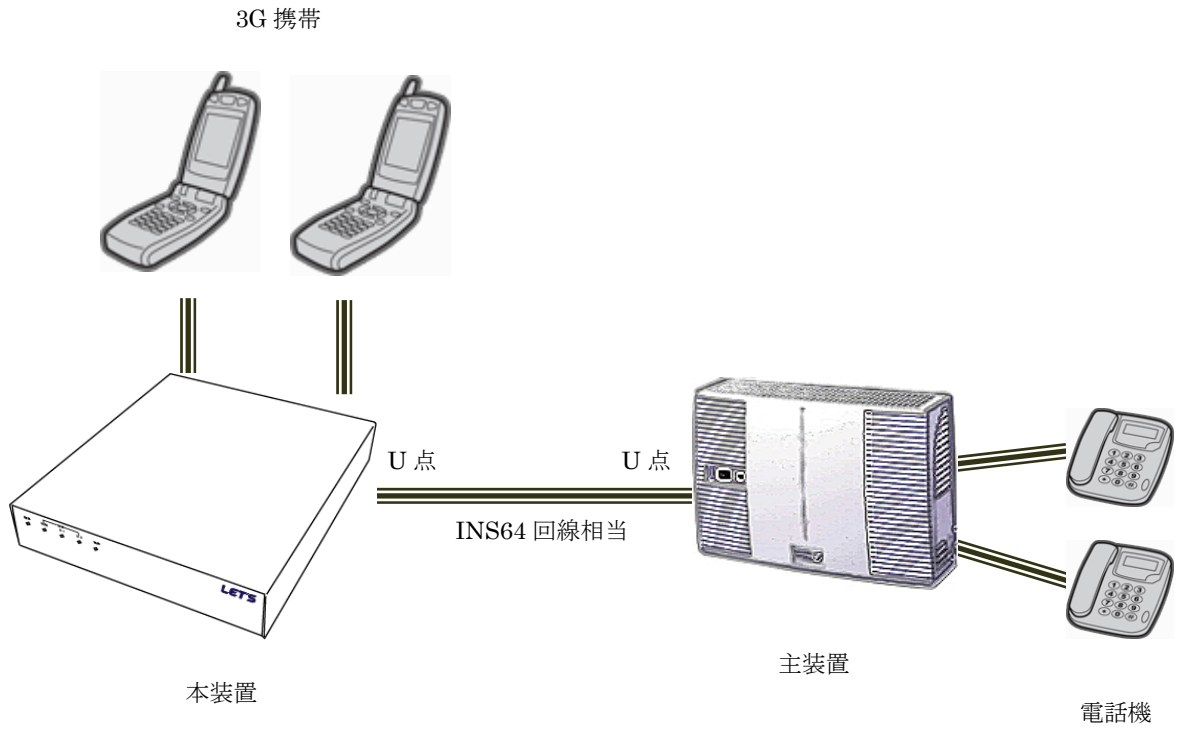
U 点

U 点

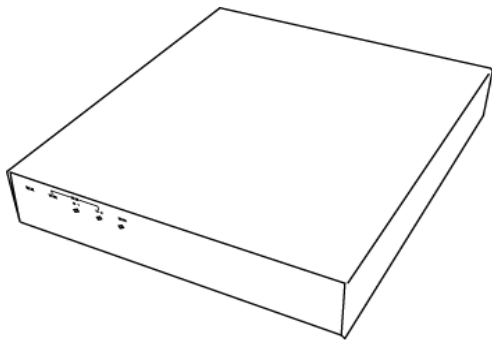
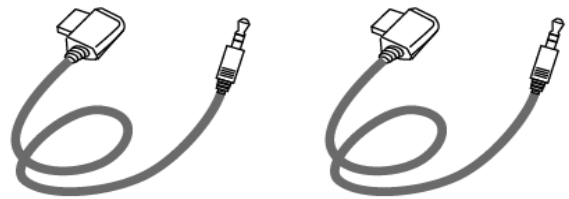
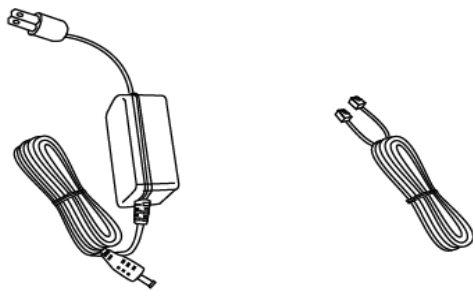
INS64 回線相当

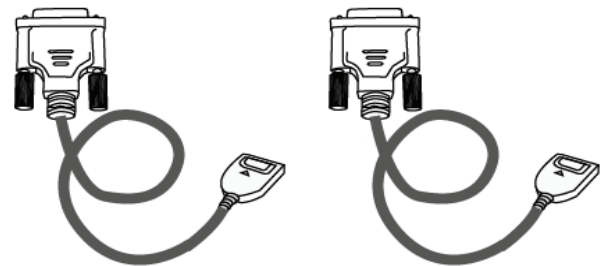
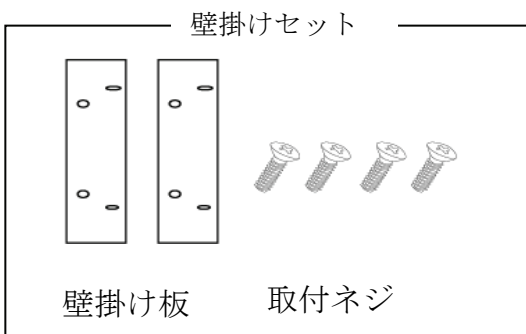
本装置

主装置

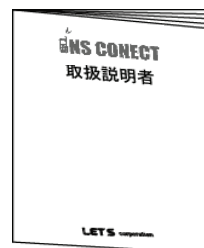
電話機

２．製品構成

ご使用前に梱包されている内容をご確認ください。
万一、不足しているものがございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

本装置　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１台
壁掛けセット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１セット
携帯制御ケーブル　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２本
携帯音声ケーブル　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２本
モジュラーコード２ｍ（ストレート）・・・・・・・・　１本
電源アダプタ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１個
取扱説明書（保証書含む）・・・・・・・・・・・・・・　１冊

本装置

携帯音声ケーブル

電源アダプタ

モジュラーコード

携帯制御ケーブル

壁掛けセット

壁掛け板

取付ネジ

取扱説明書

３．各部の名称と説明

３．１　正面及び背面の説明

＜背面＞

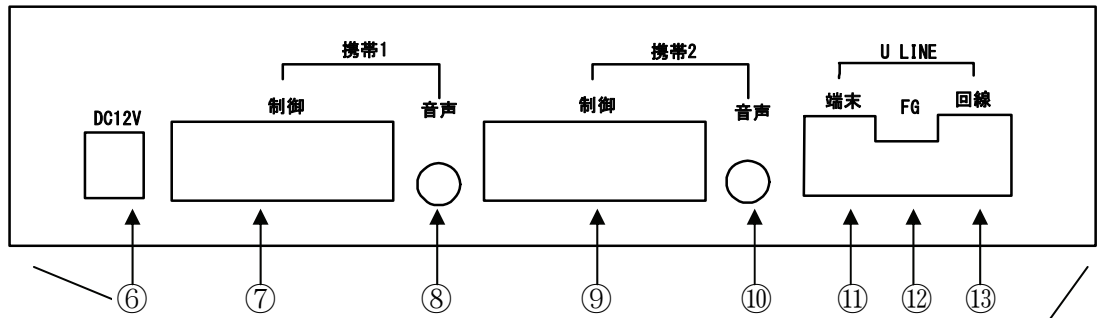
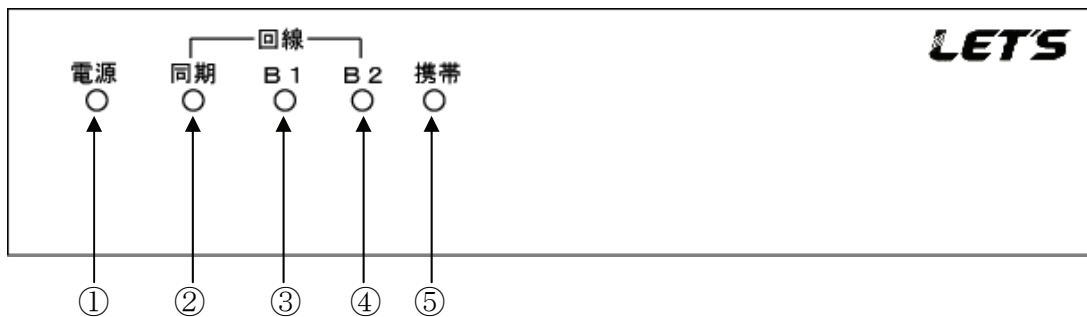
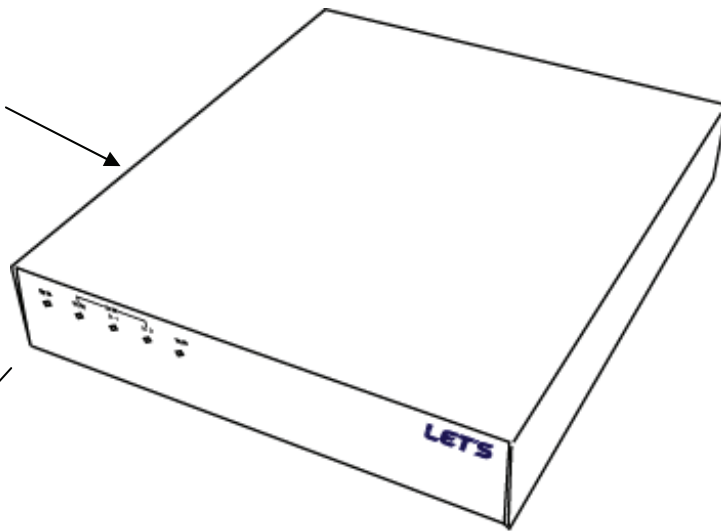
DC12V
携帯1
制御
音声
携帯2
制御
音声
U LINE
端末
FG
回線

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬

⑭

LET'S

回線
電源
同期
Ｂ１
Ｂ２
携帯

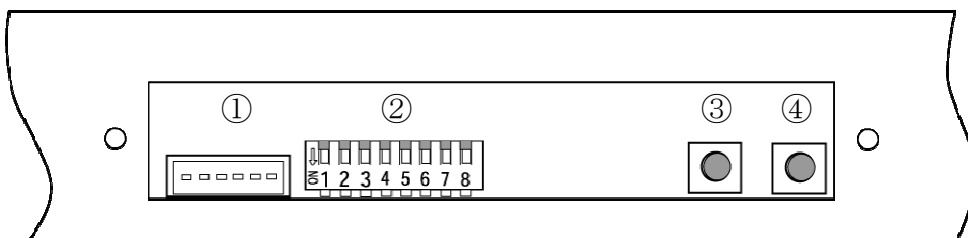
① ② ③ ④ ⑤

＜正面＞

正面及び背面の説明

No	名　　称	説　　　　明
①	電源ランプ	電源状態を表示。電源ＯＮで緑色に点灯します。
②	同期状態ランプ	端末との同期状態を表示します。 点滅：接続した端末と同期が取れていません。 点灯：接続した端末と同期が取れています。
③	Ｂ１ランプ	通話チャネル１（B1）の状態を表示します。 緑点灯：B1 チャネルは使用していません。 赤点灯：B1 チャネルを使用しています。
④	Ｂ２ランプ	通話チャネル２（B2）の状態を表示します。 緑点灯：B2 チャネルは使用していません。 赤点灯：B2 チャネルを使用しています。
⑤	携帯状態ランプ	携帯の状態を表示します。
⑥	電源端子	電源アダプタを接続する端子です。
⑦	携帯 1 制御端子	3G/FOMA 携帯を接続する端子です。
⑧	携帯 1 音声端子	3G/FOMA 携帯のイヤホンジャックを接続する端子です。
⑨	携帯 2 制御端子	3G/FOMA 携帯を接続する端子です。
⑩	携帯 2 音声端子	3G/FOMA 携帯のイヤホンジャックを接続する端子です。
⑪	端末端子	U 点端末（主装置）を接続する端子です。
⑫	ＦＧ端子	アースを接続する端子です。
⑬	回線端子	使用しません。
⑭	設定パネル	各種設定用スイッチ類です。

３．２　設定パネルの説明

①　②　③　④

1 2 3 4 5 6 7 8

側面の説明

No	名　　称	説　　　　明
①	メンテナンス端子	使用しません。
②	設定スイッチ	各種パラメータ設定時に使用します。
③	決定スイッチ	各種パラメータ設定時に使用します。
④	リセットスイッチ	本装置をリセットする場合に使用します。

４．各装置の接続

各部を接続する際は、本装置の電源をOFFにして、正しい順序で行ってください。

４．１　携帯電話の接続

手順1　携帯電話の電源をONにしてください。

手順2　付属の携帯制御ケーブルをお使いになる携帯電話に接続します。

ご使用になる携帯電話

携帯制御ケーブル

接続するコネクタ

<u>向きに注意してください。</u>

手順3　携帯音声ケーブルをお使いになる携帯電話に接続します。

※本ケーブルの接続はお使いになる携帯電話の機種によっては必要ありません。

その場合は、手順3はスキップしてください。

ご使用になる携帯電話

接続するコネクタ

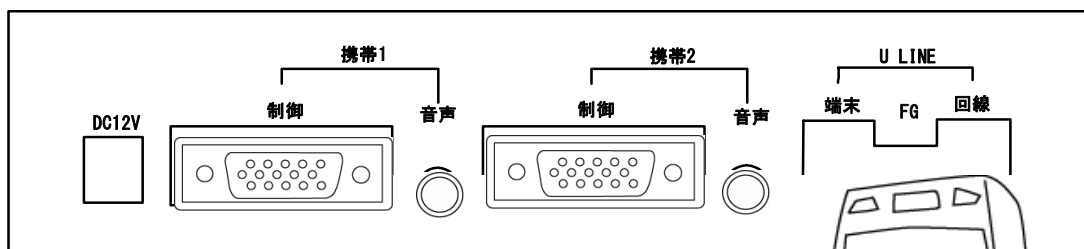
<u>向きに注意してください。</u>

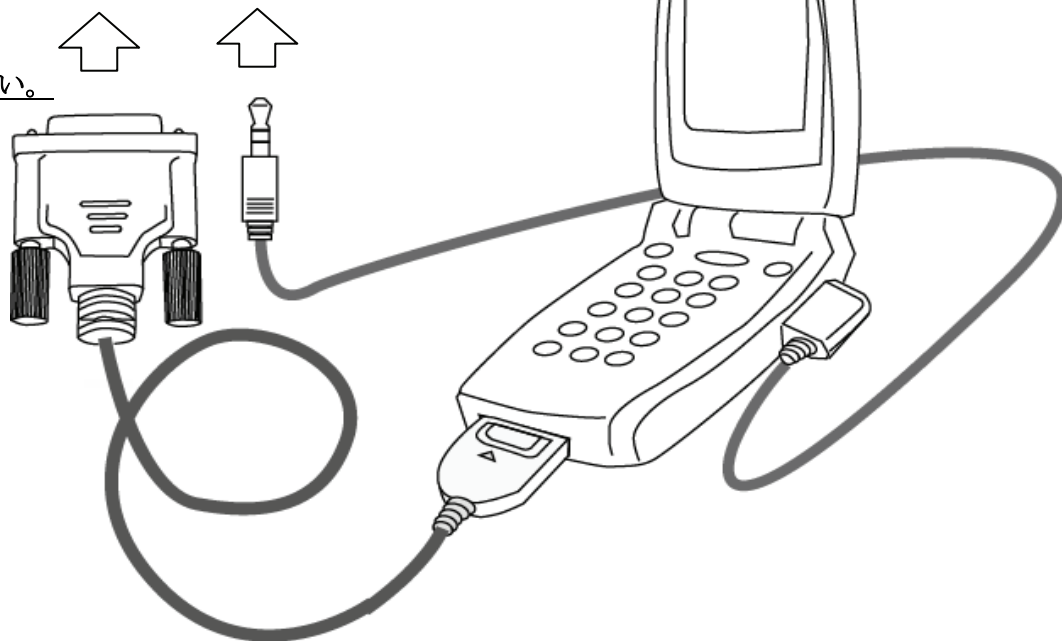
携帯音声ケーブル

手順4　本装置に携帯制御ケーブルと携帯音声ケーブルを接続します。

1 台目の携帯電話を本装置の携帯 1 へ接続します。

同様に 2 台目の携帯電話を本装置の携帯 2 へ接続します。

携帯1
制御
音声
携帯2
制御
音声
U LINE
端末
FG
回線
DC12V

接続するコネクタ

向きに注意してください。

注意＞　携帯電話からのケーブルを本装置に接続する際は、携帯 1 と携帯 2 を確認して接続するようお願い致します。間違って接続されますと正常動作致しません。

注意＞各コネクタの接続はしっかりと行ってください。

４．２　端末との接続

端末端子（U 点）に主装置からの回線ラインを接続します。

本装置

端末

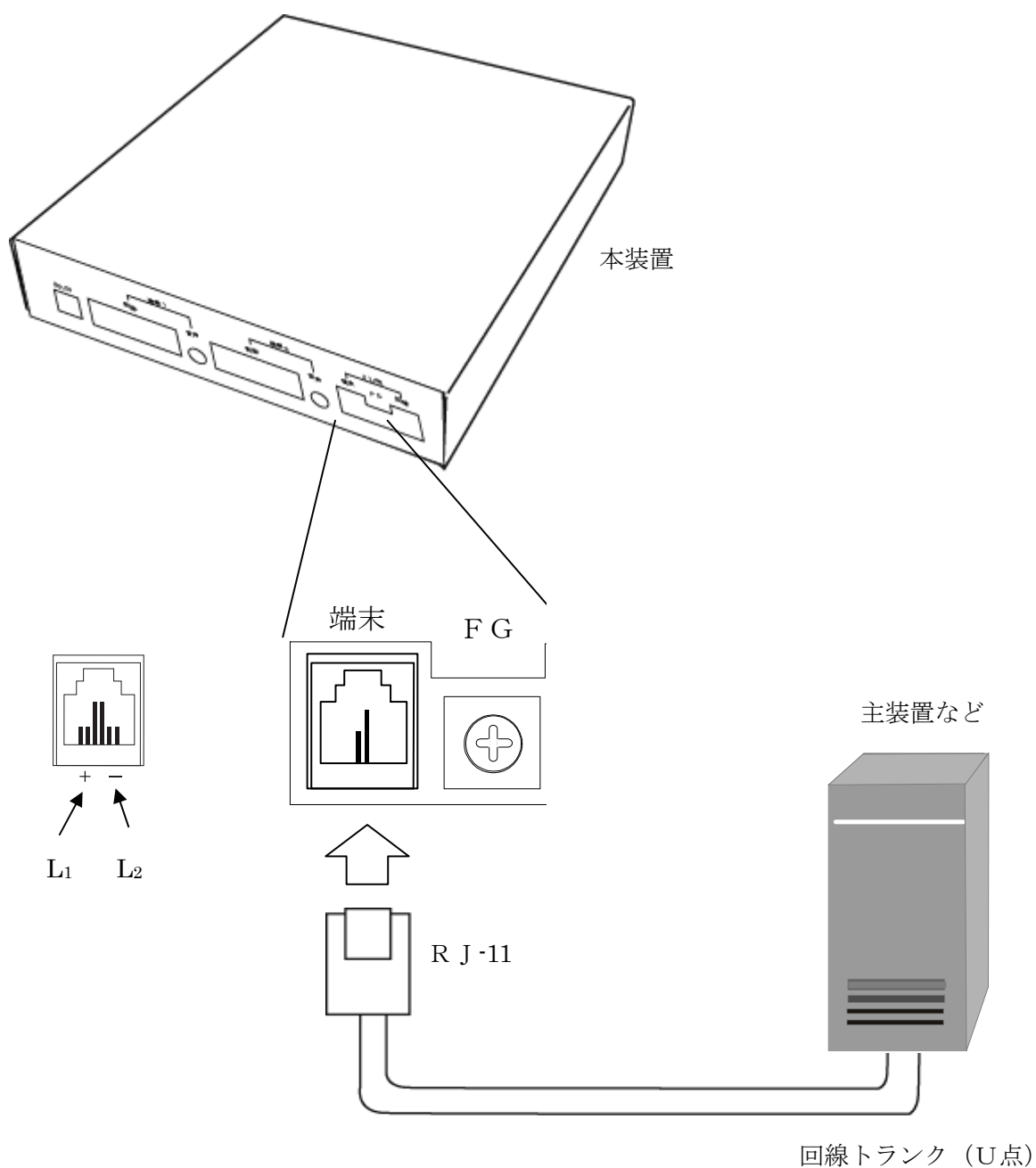
ＦＧ

＋　－

L_1　L_2

ＲＪ-11

主装置など

回線トランク（Ｕ点）

※　Ｕ点への回線極性は L_1 を＋(ﾌﾟﾗｽ)、L_2 を－(ﾏｲﾅｽ)で接続してください。
　　一部の主装置ではL1－入力がありますので、主装置の工事説明書に従ってください。

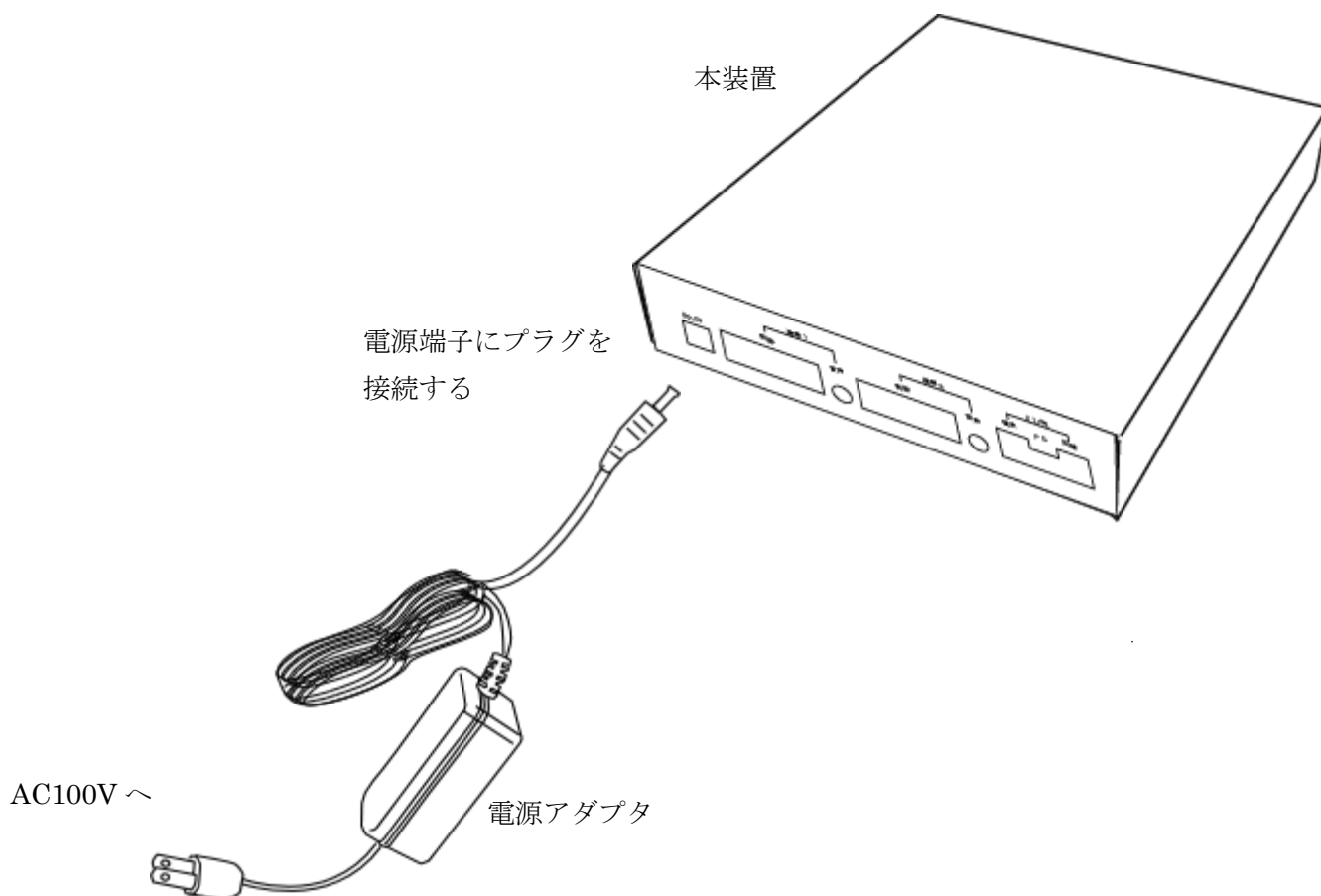
４．３　電源アダプタの接続

本装置の電源端子に電源アダプタのＤＣプラグを接続した後､電源アダプタをコンセントに差し込んでください。

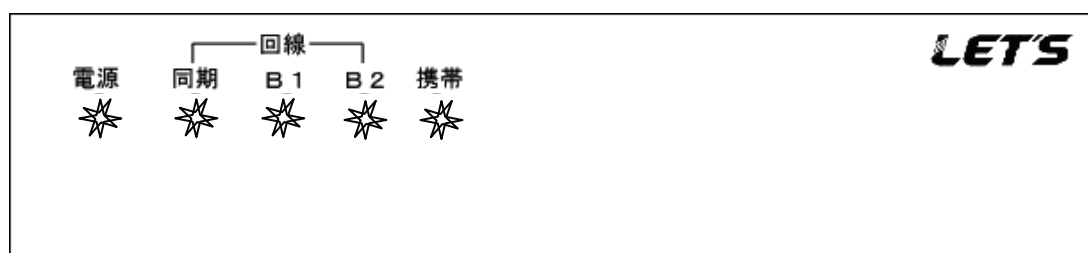
本装置

電源端子にプラグを
接続する

AC100V へ

電源アダプタ

＜注意＞　電源はＡＣ100Ｖ、50/60Ｈｚ以外では使用しないでください。

<u>※電源投入直後は数秒間のみ正面のランプ５個が全部点灯します。</u>

回線
電源　同期　Ｂ１　Ｂ２　携帯
LET'S

４．４　動作の確認

本装置に電源投入後、正面のランプ状態により動作状態を確認することができます。

本装置は、主装置などの端末及び携帯電話と正常に接続が完了した場合には、正面のランプは点灯状態になります。

ランプ状態との関係は次のようになります。

回線
電源　同期　Ｂ１　Ｂ２　携帯
○　○　○　○　○
LET'S

●電源ランプの確認

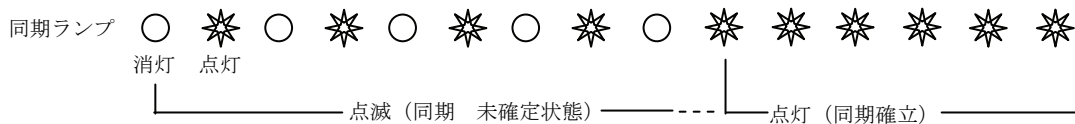
電源 ON で緑点灯します。

●同期ランプの確認

主装置などの端末と同期が確立すると緑点灯します。

同期が確立しない場合は、緑点滅します。

通常、同期確立は電源投入後から 10 秒程度の間には完了しますが、もし、点滅が止まらない場合には、端末と接続したモジュラーケーブルの断線や、回線極性の確認を再度お願いします。

同期ランプ　○ ✵ ○ ✵ ○ ✵ ○ ✵ ○ ✵ ✵ ✵ ✵ ✵ ✵
消灯　点灯
点滅（同期　未確定状態）　点灯（同期確立）

●B1 及び B2 ランプの確認

同期確立で緑点灯します。

ランプが赤点灯の場合は、該当チャネルが使用中であることを表しています。

●携帯ランプの確認

携帯ランプは、赤色、緑色、橙色と三色で携帯電話の状態を次のように表現しています。

携帯ランプ	動作内容
緑・赤の交互点滅	携帯 1 及び携帯 2 に携帯電話が未接続または、接続中の状態。
橙・赤の交互点滅	携帯 1 は接続状態。携帯 2 は未接続または、接続中の状態。
緑・橙の交互点滅	携帯 2 は接続状態。携帯 1 は未接続または、接続中の状態。
橙の点灯	携帯 1 及び携帯 2 は接続状態。

※　接続状態とは、同期確立を含めた状態です。

４．５　設置・接続での注意

- 携帯電話を電波の届きやすい場所に設置してください。
- 本装置は安定した場所に設置してください。
- 各種接続ケーブルは、お客様がつまづいて転倒したり、不要な力がかかかって機器を破損したりしないよう、収容場所に留意してください。
- 本装置を近接した場所に設置する場合、接続される携帯電話はそれぞれの装置間に３０cm 以上の距離を確保してください。(携帯電話同士が接近していると、携帯電話網の特性により、通話中に意図せず切断されたり、発信不可能になるなど、動作不良が発生する要因となります)
- 本装置の電源は付属の電源ケーブルを使用し、安全のためアースは必ず設置してください。また、通話中に“ブーン”という雑音が聞こえる場合は、電源コンセントを逆に挿し直してみてください。音声品質が改善される可能性があります。
- 本装置は停電時には、ご使用になれません。
- 携帯電話のバッテリーが非常に少ない時には、携帯電話が動作しない場合がありますので、一旦、携帯電話専用の充電器で当該携帯電話を充電してから設置、接続してください。
- 携帯電話に問題（SIM カード接触不良、ハングアップなど）がある場合、携帯電話を本装置から取り外し、電源のオフ、オンを行ってください。再度接続する場合は、本装置の電源のオフ、オンも行ってください。
- 本装置から別の本装置と通話する場合、通話時の音声品質が低下する事があります。
- 携帯電話とのコネクタ部は精密構造のため、本装置からの携帯電話着脱は頻繁に行わないよう運用してください。
- 本商品は壁掛けでご使用いただけます。
  付属の壁掛けセットをご使用ください。

５．発着信動作の基本的な使い方

５．１　発信操作

（１）内線電話機の受話器を上げます。
（２）「ツー」と言うダイヤルトーンが受話器から聞こえます。
（３）相手先が同市内の固定電話でも、必ず市外局番を付加してダイヤルしてください。
　　　※使用しているＢ１または、Ｂ２ランプが赤点灯及び、携帯ランプが点灯します。
（４）相手が電話に出ると通話開始です。
（５）通話を終了する場合は、内線電話機の受話器を置いてください。
　　　※使用していたＢ１または、Ｂ２ランプが緑点灯及び、携帯ランプが消灯します。

５．２　着信操作

（１）携帯電話からの着信があると、内線電話が鳴動します。
（２）内線電話には、相手の発信者番号が表示されます。
　　　※携帯の機種やご使用の電話機の設定によっては表示されません。
（３）内線電話が使用中ならば携帯電話は呼び出し継続となります。
（４）内線電話機で応答すると通話開始です。
（４）通話を終了する場合は、内線電話機の受話器を置いてください。

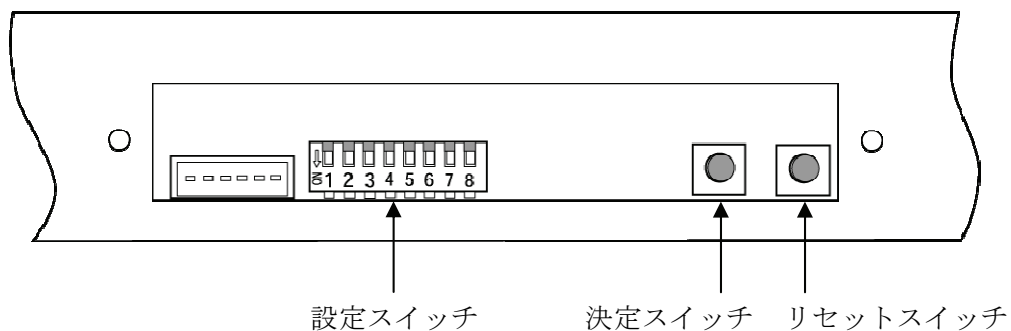
６．各種設定

６．１　設定パネル

本装置の左側面にある設定パネルを、プラスドライバーで開けます。

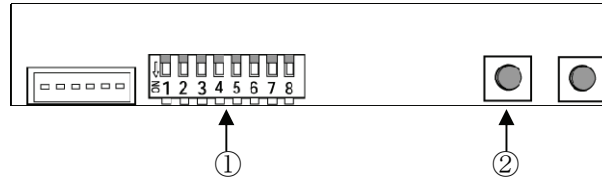
注意）取付ねじを無くさない様にご注意ください。

ON 1 2 3 4 5 6 7 8

設定スイッチ　　決定スイッチ　リセットスイッチ

設定スイッチ機能一覧

<table>
<tr><th>DIP No</th><th>機　能</th><th colspan="2">内　容</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">携帯選択</td><td>上</td><td>携帯 1</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>下</td><td>携帯 2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">充電／音量選択</td><td>上</td><td>充電方法</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>下</td><td>送受話レベル</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">送話／受話音量選択</td><td>上</td><td>送話レベル</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>下</td><td>受話レベル</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">予約</td><td>上</td><td>未使用</td><td rowspan="2">使用しません。</td></tr>
<tr><td>下</td><td>未使用</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td rowspan="8">充電方法設定／
送受話レベル設定</td><td>上</td><td>OFF</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>下</td><td>ON</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>上</td><td>OFF</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>下</td><td>ON</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>上</td><td>OFF</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>下</td><td>ON</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>上</td><td>OFF</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>下</td><td>ON</td></tr>
</table>

６．２　充電設定

本装置は接続している携帯電話に対して充電を補助的にサポートしています。
携帯電話への充電方法は４種類から選択でき、設定方法は次の通りです。

①　②

操作 1　側面の設定スイッチ蓋を開けます。

操作 2　①DIP1 番より、設定する携帯を選択します。

DIP スイッチの 1 番	機能
上	携帯 1 を選択
下	携帯 2 を選択

操作 3　①DIP2 番を上にして、「充電方法」を選択します。

操作 4　①DIP5 番と DIP6 番を設定し、充電方法を選択します。
このとき①DIP7 番と DIP8 番は、上にします。

DIP スイッチの 5 番	DIP スイッチの 6 番	充電方法
上	上	両回線とも待機中の場合のみ充電
下	上	充電しない
上	下	通話中は充電しない
下	下	常に充電する

操作 5　②決定スイッチを押して設定します。
設定が正しく行えた場合は、携帯状態ランプが点滅するので確認します。
誤ってリセットスイッチを押した場合、通話が切れますのでご注意ください。

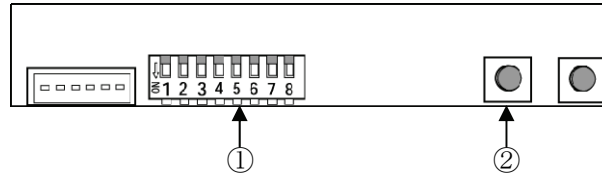
※　通話に入るまでに、「ザー」という音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

※　通話中にノイズが入る場合があります。その場合、携帯電話への充電機能として「両回線とも待機中の場合のみ充電」または「通話中は充電しない」としてください。

※　[　] は初期値です。

※　23 ページのチェックリストに、設定状態をご記入ください。

６．３　送話受話音量設定

本装置は、通話相手に対しての送話音量、及び通話相手からの受話音量を調整することができます。調整方法は次の通りです。

操作 1　側面の設定スイッチ蓋を開けます。

操作 2　①DIP1 番より、設定する携帯を選択します。

DIP スイッチの 1 番	機能
上	携帯 1 を選択
下	携帯 2 を選択

操作 3　①DIP2 番を下にして、「送受話レベル」を選択します。

操作 4　①DIP3 番より、「送話音量」または「受話音量」を選択します。

DIP スイッチの 3 番	機能
上	送話音量を調整
下	受話音量を調整

操作 5　①DIP5 番、DIP6 番、DIP7 番、及び DIP8 番を設定することで、音量を調整します。

DIP スイッチの 5 番	DIP スイッチの 6 番	DIP スイッチの 7 番	DIP スイッチの 8 番	音量レベル[dBm]
下	下	下	上	+21
上	下	下	上	+18
下	上	下	上	+15
上	上	下	上	+12
下	下	上	上	+9
上	下	上	上	+6
下	上	上	上	+3
上	上	上	上	0
下	下	下	下	-3
上	下	下	下	-6
下	上	下	下	-9
上	上	下	下	-12
下	下	上	下	-15
上	下	上	下	-18
下	上	上	下	-21
上	上	上	下	MUTE

大 ↑ … ↓ 小

操作 6　②決定スイッチを押して設定します。

設定が正しく行えた場合は、携帯状態ランプが点滅するので確認します。

<u>誤ってリセットスイッチを押した場合、通話が切れますのでご注意ください。</u>

※　[　　] は初期値です。

※　23 ページのチェックリストに、設定状態をご記入ください。

７．壁掛け方法

本装置を壁掛けで設置される場合は、付属の壁掛けセットをご利用ください。

本装置の底面にし、下図のように壁掛け板をネジで 4 箇所固定してください。

ネジ

底面

壁掛け板

本装置

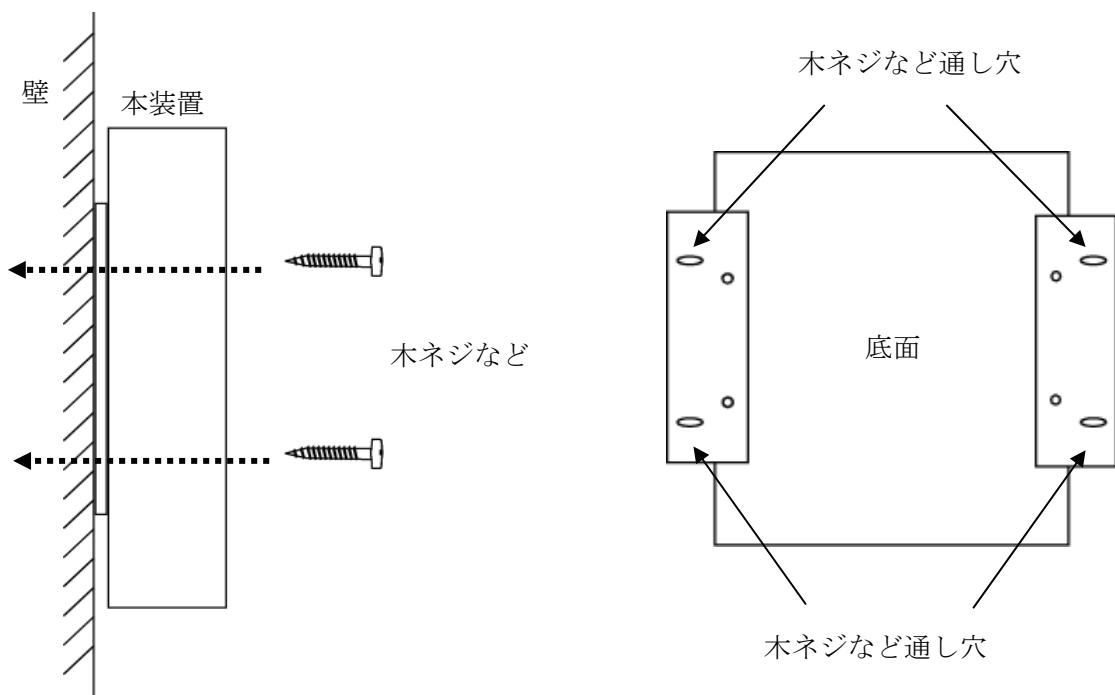
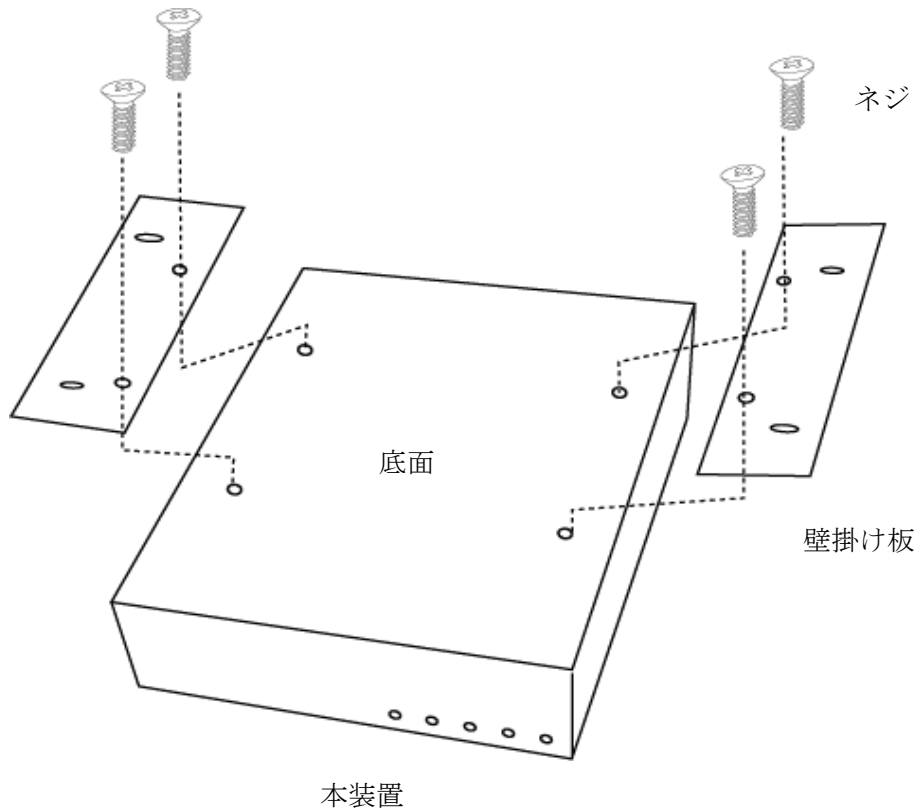
壁

本装置

木ネジなど

木ネジなど通し穴

底面

木ネジなど通し穴

８．主な仕様

項　　　目	内　　　容
端末側収容回線	U 点：1 回線（2ch） ISDN 基本インタフェース　回線交換
携帯側収容回線	3G/FOMA　USB 制御インタフェース：2 回線
端子構成	端末：RJ-11 モジュラージャック×1 携帯電話：D-Sub15pin オスコネクタ×2 3.5Φステレオジャック×2
インタフェース仕様	TTC 標準 JT-G961 準拠、JT-Q921,JT-Q931
インタフェース構造	2B+D／（B：64kbps、D：16kbps）
伝送速度	320kbps（U 点）
インタフェース形態	P-P、P-MP　自動識別
接続方式	RJ-11 モジュラープラグ（U 点）
線路損失等化能力	最大 50dB　（Φ0.5ｍｍケーブル周波数 160kHz における値）
端末直流ループ抵抗	最大 810Ω
起動種別	呼毎、常時の端末に対応
本体表示	電源 LED、動作状態 LED
適合携帯電話	3G、FOMA 携帯（一部機種を除く。）
携帯電話インタフェース	ＵＳＢインタフェース及び音声ライン（一部イヤホン対応）
携帯送話音声信号	音声信号 -22dBv　出力インピーダンス 600Ω以下
携帯受話音声信号	音声信号 -19dBv　入力インピーダンス 5kΩ以上
携帯充電	5.4V/600mA 定電流　（携帯 1 台につき）
電源アダプタ	入力 AC100V(50Hz/60Hz)±10V　出力 DC12V/2.0A
電源アダプタ 2 次側極性	センタープラス
本体寸法（Ｄ×Ｗ×Ｈ）	約 200mm×230mm×45mm
本体重量	約 1200g（壁掛け板未装着）
環境条件	
使用温度	0℃～45℃
保存温度	-20℃～60℃
湿度	10%～80%（結露なきこと）

９．トラブルシューティング

故障かなと思う前に・・・、もう一度お確かめください。

症状	確認内容
主装置との同期が確立しない	主装置と正しく接続されていますか。
	極性はL1+になっていますか。(一部主装置はL1-です。) 主装置の工事説明書をご確認ください。
	設定パネルを空け、設定スイッチが全て OFF になっていることを確認してください。
携帯電話との同期が確立しない	携帯電話は適合機種ですか。 適合機種の確認をお願いします。
	携帯制御ケーブルは正しく接続されていますか
音声が出ない	携帯電話は適合機種ですか。 付属の携帯音声ケーブルをご利用ください。
	携帯音声ケーブルは正しく接続されていますか
携帯電話が 1 台でも大丈夫？	携帯 1 または携帯 2 のどちらかに、使用する携帯電話を接続してご利用になれます。
携帯電話の適合機種が知りたい	弊社ホームページで最新の適合機種が確認できます。 弊社ホームページ　http://www.lets-co.co.jp
携帯電話の充電ができない	本装置の 6.2 充電設定を確認してください。
	携帯電話の電池残量がほぼない状態では、本装置での充電機能では、充電開始がされない場合があります。 その場合は、携帯電話に付属の専用充電器で一度充電した後、本装置に再接続してください。
通話中に携帯電話の電池が切れた	本装置の 6.2 充電設定を確認してください。
送話音量が大きい又は小さい	本装置の 6.3 送話受話音量設定で送話レベルを適切に調整してください。ご使用の主装置や、携帯電話により音量は異なります。
受話音量が大きい又は小さい	本装置の 6.3 送話受話音量設定で受話レベルを適切に調整してください。ご使用の主装置や、携帯電話により音量は異なります。
固定電話などの番号に掛けたい	市外局番からダイヤルしていただければ、固定電話番号でも発信できます。

１０．チェックリスト

下記の設定の際、設定スイッチの設定状態をご記入ください。（○などを付けてください。）

DIP スイッチの１番～8 番

（１）充電設定（DIP スイッチの２番：上）

携帯電話１（DIP スイッチの１番：上）

DIP スイッチの５番	DIP スイッチの６番
上	上
下	下

携帯電話２（DIP スイッチの１番：下）

DIP スイッチの５番	DIP スイッチの６番
上	上
下	下

（２）送受信レベル（DIP スイッチの２番：下）

●送話音量（DIP スイッチの３番：上）

携帯電話１（DIP スイッチの１番：上）

DIP スイッチの５番	DIP スイッチの６番	DIP スイッチの７番	DIP スイッチの８番
上	上	上	上
下	下	下	下

携帯電話２（DIP スイッチの１番：下）

DIP スイッチの５番	DIP スイッチの６番	DIP スイッチの７番	DIP スイッチの８番
上	上	上	上
下	下	下	下

●受話音量（DIP スイッチの３番：下）

携帯電話１（DIP スイッチの１番：上）

DIP スイッチの５番	DIP スイッチの６番	DIP スイッチの７番	DIP スイッチの８番
上	上	上	上
下	下	下	下

携帯電話２（DIP スイッチの１番：下）

DIP スイッチの５番	DIP スイッチの６番	DIP スイッチの７番	DIP スイッチの８番
上	上	上	上
下	下	下	下

製品保証書

型名		製造番号	

保証期間		平成　年　月　日～　年　月　日まで
ご需要先	ご住所	郵便番号□□□□□□□ TEL　－
	ご会社名	
	ご担当者名	様　－
代理店 住所 氏名		TEL
営業所名 住所 担当者		営業所 TEL　－

この製品は下記の通り保証いたします。

厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。
、正常な使用状態において万一故障した場合には、
理いたします。
りの代理店もしくは当社営業所・サービスセンター
保証書をご提示の上お申しつけください。
であっても、下記に記載する項目に該当する場合
なります

再発行いたしません。大切に保管ください。
日本国内においてのみ有効です。
(This Warranty is valid in JAPAN)
6.保証書に印鑑なきものは無効です。

LET'S

今、求められるニーズを

株式会社レッツコーポレーション

株式会社レッツコーポレーション印

次の場合には有償修

（イ）使用上の誤り、…および損傷。
（ロ）お買い上げ後の搬送…故障および損傷。
（ハ）付属機器、回線、故障…
（ニ）火災、風水害、地震、雷…の天災地…および異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）な…る故障およ…傷。
（ホ）特殊環境（たとえば…の湿気、塩害…害、公害、塵埃、極寒など）による故障および損傷。
（ヘ）保証書のご提示がない場合。
（ト）保証書の紛失あるいは所定事項の未記入または字句を勝手に訂正された場合。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。